

【プログラム名】

## ◎ほめることってどんなこと？

家庭教育支援ガイドブック「ほめることの効果」

### 1 プログラムの準備等

○適切な実施時期：いつでも

○実施時間：約50分間（説明5分、プログラム45分）

○対象：児童期（小学校中学年～高学年）の子どもの保護者

○準備物、配布物

【配布物】※ファシリテーターの指示で配布

- ・家庭教育支援ガイドブック「ほめることの効果」
- ・A4用紙（1グループ5枚程度。グループワーク1で配布）
- ・ふりかえりワークシート
- ・ペン（多色のもの）
- ・クリップボード（なくても可。必要に応じて使用）

【備品】

- ・ホワイトボード（なくても可）
- ・タイマー

<事前にホワイトボードに書いておくこと>

ワーク「ほめ言葉について考えてみよう」

- ・一番よいと思ったほめ言葉



2 展開例 (15:00~15:50 に実施の場合)

時間	プログラムの内容	ポイント 等
15:00~ (5分)	<p>○開会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ファシリテーターあいさつ、自己紹介</li> <li>・今日の講座の趣旨と流れの説明</li> <li>・グランドルール [守秘、参加、尊重、時間厳守] の確認、写真撮影の了解など</li> </ul> <p>【グループづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・くじ引き、隣近所、指定 (名前シールを作って割り振る) のいずれか</li> </ul> <p>3人一組で10班 ※参加者が30人の場合</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファシリテーター2名 (進行と板書、配布など)</li> </ul> <p>【趣旨】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが自信をもって物事に取り組み始めるようになるために、ほめることが大切であること。</li> <li>・「ほめる」場面や言葉について考える機会であること。</li> </ul>
15:05~ (3分)	<p>○アイスブレイク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者同士の自己紹介</li> </ul> <p>名前と子どものクラスを言う</p>	
15:08~ (10分) 予備2分	<p>○グループワーク1「ほめ言葉について考えてみよう」</p> <p>(やり方)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※事前に「記録係」と「発表係」を決めてもらう。</li> </ul> <p>①「ほめ言葉」を、順番に思いつく限り挙げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※「ほめ言葉」は重複してもよい 3分</li> </ul> <p>②記録係は、出てきたほめ言葉を用紙に記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※「出てきたほめ言葉の数」も数えておく。</li> </ul> <p>③グループ内で、「一番よいと思ったほめ言葉」を選ぶ。 2分</p> <p>【全体共有】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各グループの発表者が、「出てきたほめ言葉の数」と、「一番よいと思ったほめ言葉」を発表する。</li> <li>・ファシリテーターはホワイトボードに「一番よいと思ったほめ言葉」を書き出す。</li> </ul> <p>※すでにホワイトボードに書かれている場合はチェック印を付け、まだ出ていないほめ言葉があれば追記する。 5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほめ言葉のバリエーションを増やす。</li> <li>・各グループに、記録用のA4用紙と筆記具を配布</li> <li>・ゲーム感覚で、思いつく限りほめ言葉を出すよう促す。(日ごろ、そのほめ言葉を使っているかは問わない)</li> <li>・①を始めて3分たったら、ファシリテーターは全体に声かけをし、「一番よいと思ったほめ言葉」を選ぶように促す。</li> <li>・ホワイトボードがなければ板書なしで行う。</li> <li>・ホワイトボードに書くときは、後ろの人にも見えるように大きく、くっきりと書く。また、口頭でも伝える。</li> </ul>

<p>15:20～ (20分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭教育支援ガイドブック「ほめることの効果」についての説明 3分</li> </ul> <p>○グループワーク2「ほめる時は、どんな場面？」(やり方)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドブックの「今できていることを認めてほめる」、「その子自身の過去と比べて、伸びたことを見つけてほめる」を踏まえ、どんな場面でほめ言葉をかけられそうか話し合う。</li> <li>※ここでは書かずに話すだけにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一番数の多かったグループに、みんなで拍手をする。</li> <li>・ガイドブックのコピーを配布する。</li> <li>・ガイドブックの説明と併せてファシリテーターがエピソードを短く話す。</li> <li>・自分では気づいていない、ほめる場面があることに気付く。</li> <li>・ファシリテーターは、1日の生活場面を想定できるよう例を提示する。</li> <li>【朝の準備、食事中(前後)、宿題、帰宅時、手伝い、明日の準備 など。ワーク1で出たほめ言葉の場面を考えてもよい】</li> </ul>
<p>15:40～ (10分)</p>	<p>○ふりかえり(やり方)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人で、「①自分の子どもの○○の場面」で、「②○○(ほめ言葉)と声掛けをしたい」とA4の用紙に書く。</li> <li>・書いたことをグループ内で共有する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふりかえりシートを配布</li> <li>・ファシリテーターが、ワーク1, 2を軽く振り返る。</li> <li>・ファシリテーターは事前にふり返しシートを記入しておき、書き方の例として提示、説明を行う。</li> <li>・立派なほめ言葉ではなく、子どもを認める言葉がけが大切であることを伝える。</li> </ul>
<p>15:50</p>	<p>○閉会</p>	

# ふりかえりシート

〔①〕 子どもの〇〇の場面で、

〔②〕 〇〇（ほめ言葉）と声かけをしたい。

## ほめることの効果

どんなふうに  
ほめたらいいのかしら  
悪いところが  
目についちゃって..



こんなふうに思うことはありませんか？

## ほめる内容は当たり前前のことでいいのです

- ① 今できていることを認めてほめる
- ② その子自身の過去と比べて、伸びたことを見つけてほめる

今日のあいさつは  
元気でいいね

いつもより早く  
起きられたね

ちょっとしたこと  
でもいいのね



大事なことはその子自身を認めてほめることです。子どもの「すごい」「さすが」「すばらしい」をたくさん見つけて、言葉で伝えましょう。

## ほめられることによって心に変化が生まれます

うれしい!

また、  
がんばろう!

もっと  
できるかも!

- ➡ 気持ちがポジティブになる
- ➡ 前向きに物事に取り組める
- ➡ 「挑戦しよう」という意欲がもてる
- ➡ 自分は大切な存在だと思える
- ➡ 自分に自信がもてる
- ➡ 学習が身につきやすくなる

自信をもって物事に取り組める自立した子に